学校番号	３１６

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	地学	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	地学　（啓林館）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎で学習した地学現象に対する知識をさらに深めること、さらに、私たちの生活との関連性について、考えられるようになることを目標とします。風や雨、天体現象など、私たちの身近な現象がどのようにして発生し、生物にどのように影響しているか考察していきましょう。

また、日本に住む私たちは、地震や火山、台風など、さまざまな災害と隣合せです。そのような災害が起こったときにどう行動すべきかを学び、防災への知識を深めていきます。

使用教材は、教科書に加え、別途用意する教材を中心に授業を進めます。さらに、必要に応じて視覚教材やインターネット等を利用します。

2　学習の到達目標

地学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学現象や日常生活との関係に関心を持ち、意欲的に学習しようとする姿勢を身につけている。また、科学的な見方、考え方、知識を積極的に習得しようとしている。	得られた知識をもとにさまざまな地学現象を論理的に導き出して、それらを説明する事ができる。	地学現象の観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を適切に整理し、発表することができる。	地学的な事物･現象の概念･原理･法則などの知識を身につけて、理解している。
評価方法	授業態度 提出課題 定期考査	授業態度 提出課題 定期考査	授業態度 提出課題 定期考査	授業態度 提出課題 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1学期</td><td rowspan="3">固体地球の概観と活動</td><td>地球の概観</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a:地球の概観や地球の活動に関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。
b:地球の内部構造の調査方法や地震波の特性を理解し、表現することができる。
c:地球の活動や防災について、科学的にまとめることができる
d:固体地球の概観と活動、日本列島の誕生の歴史についての知識を習得している。</td><td rowspan="4">授業態度
提出課題
定期考査</td></tr>
<tr><td>プレートテクトニクス</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>地球の活動</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>地球の歴史</td><td>私たちの日本列島</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2学期</td><td rowspan="4">大気と海洋</td><td>大気の構造</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a:大気と海洋の構造と運動に関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。
b:大気と海洋の構造や運動について理解し、気候変動などの地学現象を説明できる。
c: 大気と海洋の運動について整理できている。フェーン現象による温度変化を数的に表現することができる。
d: 大気と海洋の構造と運動についての知識を習得している。</td><td rowspan="4">授業態度
提出課題
定期考査</td></tr>
<tr><td>大気の運動</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>海洋と海水の運動</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>気候変動と地球環境</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

	宇宙の構造	太陽系の天体	○	○	○	○	a:太陽系の天体とその運動に関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。 b: 地球の自転と公転の証拠を説明することができる。地球と太陽系の天体との位置関係を説明することができる。 c:太陽系の天体の特徴を整理できる。恒星の見かけの運動を説明することができる。 d: 太陽系の天体とその運動についての知識を習得している。	
3学期	宇宙の構造	恒星の性質と進化	○	○		○	a:恒星の性質や宇宙の構造に関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。 b: 恒星の進化の流れを把握し、表現できる。 c:銀河系の構造や銀河の種類を整理することができる。 d: 恒星の性質や宇宙の構造について、知識を習得している。	授業態度 提出課題 定期考査
		銀河系と宇宙	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。